

2 人材の育成・確保

キーワード 「 関わる人すべてがスペシャリスト 」

地域リハビリテーションを担う関係者のリハビリテーションに関する正しい知識と技術の修得が必要です

アセスメント

◇訪問リハビリが可能な事業所の人材確保・育成が必要

- ・ 訪問リハビリ事業所担当者会議における協議

◇小児リハビリ分野の専門的指導ができる人材確保・育成が必要

- ・ 事例紹介による、丹後圏域の人材育成
- ・ 京都府リハセン開催の在宅小児リハビリ研修会への積極的参加

◇障害福祉分野への専門的支援ができる人材確保・育成が必要

- ・ 事例検討会紹介、障害者事業所への訪問指導の積み重ね

リハビリはセラピストだけでなく多職種間で行うもの

訪問看護による訪問リハも限界あり。いつまで、どの程度続けられるのか、次につなぐ先もない

取り組み内容

○各分野ごとの事例検討会にて顔の見える連携と研修を行います

○介護職・看護職リハビリテーションステップアップ研修にて、現場で今日から使えるリハビリのヒントやスキルを学ぶ研修をシリーズで行います

○実践交流会（「お気軽サミット」）にて実践を発表することでスキルと実践力の向上と他職種との連携を行います

事例検討会



実践交流会（お気軽サミット



